

神楽坂 まち飛びフェスタ 2002

平成14年

9/29
10/14



神楽坂はちよつと昔の良さと、新しい魅力あふれるまちです。

多くの人が行き交う神楽坂通り、そして路地の奥には黒塀に囲まれた料亭、小粋な横町、石畳といった情緒ある街並み。それでいて飲食店はあらゆる国の料理が並ぶ賑やかさ。それらが混在しながら今も変化している面白さが、人を惹きつけてやまない理由なのかもしれません。

さて、「神楽坂まち飛びフェスタ」は、まちのタウン誌「こは牛込、神楽坂」を編集・発行していた故立壁正子さん（牛込倶楽部主宰）のひらめきで始まった「まちに飛びだした美術館」というイベントが少しずつ形を変えて、今につながっています。一九九九年のそのイベントでは、商店から路上まで神楽坂にアート作品があふれ、まさにまちに美術館が飛び出したようでした。日頃はいつも車に占領されてしまいう神楽坂通りも、日曜・祝祭日の午後には歩行者天国となります。その爽快さは誰でも心当たりがあるはず。その路上を使ってイベントをしようという壮大で、かつあまりの無謀さに感動・心配して自発的に集まった人たちを中心に、今もおもものさが忘れられずにやり続けているのが、四年目を迎えた「神楽坂まち飛びフェスタ」です。

その変遷を振り返ってみると、二〇〇〇年は会期も一ヶ月間と長く、企画書には「もっと大きくもっと深く」という言葉があるように、実にさまざまなおイベントが毎週目白押し。週に何回もミーティングをして、あ



700mの白い紙がまちをひとつにつなぐ

「坂と絵、つなぐまち」

坂に敷かれた白い紙は、このまちに魅かれた人々の絵で埋め尽くされる。坂と絵が神楽坂をつなぎ、神楽坂は人をつなぐ。

ふれる企画を實行できる範囲にとどめるだけでもかなりの調整が必要でした。寝食を忘れてというほどのめり込みようです。特に、東京理科大学所有の維持会館（現在建て替え中）では、内部ををギャラリーとしてオープンにし、伝統芸能のフォーラムを開催するなど充実した内容で、NHK等のマスコミの取材もありました。

二〇〇一年はさすがにスタッフも疲れたのか会期は二週間に限定し、神楽坂らしい内容に絞り込みました。

また、街路灯が新しくなったことを記念して、地元の津久戸小学校の生徒に描いてもらった絵をフラッグにし、「まち暖簾（のれん）」とネーミングして飾りました。それは地元のこともちや地域の人と密接でありたいという思いを込めたものでした。二〇〇〇年

のイベントは確かにすこかったけどまちの人にとってはどうだったのか、何のためのイベントなのか、外に発信する必要性はあるのか？ などという反省を踏まえた結果です。そしてまち暖簾——街路灯アートは今年もまちにはためきます。

私たち「神楽坂まち飛び実行委員会」は、年齢や職業の如何に関わらず、自分の得意とするところを無理なく楽しんでやろうというのがモットーです。

今では最初の「まちに飛びだした美術館」そのものを知らない人たちが、スタッフの中心として動いています。

坂に敷かれた白い紙がどこまでも伸びていくように、このイベントを通じて、人と人がつながっていくことを願っています。



9/29 (日) ※小雨決行

9月29日(日) 10月14日(祝)
街路灯フラッグアート まち暖簾のれんをかけよう!

昨年引き続き、今年も、街路灯に子どもたちや地域の人々が描いた絵がまちにはためきます。一枚、一枚スキナーで読み込んでアイロンプリントし、さらにみんなでアイロンがけをして完成させます。そして「まち飛び」開催の2週間、風や雨に耐えられるように祈りながら手作業で街路灯に飾ります。津戸小学校の3年生から6年生までの生徒と、近隣や地域のこともたちの絵をあわせると、およそ120枚。神楽坂の1丁目〜6丁目までの700m、坂道は大きな展覧会場です。みんなの作品を家族や親戚、友達など多くの人が見に来てくれること、家族や友達の話の話題のひとつになることを願っています。

坂にお絵描き 700mのキャンパスに繰り広げる路上イベント

於：神楽坂下から矢来町付近まで、神楽坂通り全域
 9月29日(日) ロール紙敷き・お絵描き&ウオッチング 13時〜15時
 神楽坂通りの路上にロール紙を敷いて、好きなだけ絵を描きます。好きな絵の道具を持って神楽坂にお集まり下さい。お天気は天まかせ! 神楽坂の下から上まで絵を眺めながらのウォッチングもかなりユニークです。



戦いすんで犬が行く



わあーもう何もこわくないよ



ふだんやらないから肩がコリコリ

神楽坂スケッチ会

於：毘沙門天善國寺前/9月29日(日)・10時
 主催：東京を描く市民の会・神楽坂まちづくりの会
 黒堀や石畳、社寺とたくさんさんの坂がある神楽坂を「神楽坂まちづくりの会」メンバーの案内で「まちあるき」を行い、その後は自由に描きます。参加自由。

アートマーケット

於：毘沙門天善國寺周辺/9月29日(日)・11時
 自分で作った作品をこの機会に売ってみたいというアーティストたちが、お店を開きます。掘り出し物をもつけてね。現在参加者募集中。

アートパフォーマンス

於：ロール紙周辺/9月29日(日)・12時30分
 出演：源吾郎(江戸からくり茶運び人形・正調がまの油売り口上)・学生ジャズバンド他
 坂・直線に伸びる白い紙。アーティスト達が何を感じ、どう表現するかお楽しみに。



フランスにはこんな楽しいことないよ



どうだ! 身体を張って描いたんだ、わかるだろ

神楽坂マップ展

於：毘沙門天善國寺境内/10月5日(土)・11時30分〜16時
 主催：神楽坂まちづくりの会
 神楽坂の今、昔。マップから伝わるまちの風景。今、守るべきものは?



正調がまの油売りは、源吾郎におまかせください

投扇興

於：志満金3F/10月5日(土)・15時〜17時30分
 参加費：無料/指導：大島歌織
 優雅なお座敷遊びの「投扇興」を体験します。まずは練習、そして対戦まで。花散里、末摘花、など源氏物語にちなんだ採点を見ているだけでしたら、気分になります。着物でのご参加するとぐっと雰囲気が出ます。

パフォーマンスで疲れたよ〜



ワタシって、イイ線行ってるでしょ

10/6 (日)

産直販売スベシヤル

於：音楽之友社前 毘沙門天善國寺/10月6日(日)・10時〜17時
 主催：山形県鶴引町企画課・産直あぐり
 「神楽坂まちづくりの会」が4年前から交流を続けている山形県鶴引町。10月は「まち飛び」に合わせて6日に開催。有機栽培のとれたて野菜や、低農薬の新米など、秋の味覚を、挙に放出します。お見逃しなく!

青空市

於：6丁目商店街界隈/10月6日(日)・12時〜18時/主催：神楽坂商店街振興組合
 このところますますパワーアップした、恒例の歩行者天国での大販売市。今回もお買い得商品が満載です。



投扇興は、初心者でも十分楽しめます



誰もこのアートマーケットのすばらしさをわかってくれないね

日蓮宗 お会式

於：毘沙門天(万灯行列は神楽坂下から毘沙門天まで)
 10月14日(祝)・万灯行列 20時
 講：溝の口宗隆寺・有志の方々
 日蓮上人のご命日の行事として名高いお会式が毘沙門天で
 とりおこなわれます。纏や太鼓・万灯山車の行列が、光と音のページェントを
 繰り広げます。お会式が終わると神楽坂に秋の静寂が訪れます。



このフラッグすく丸まって困るんだ



万灯行列が去ると、秋の気配が坂道におとずれる



「梢」さん と 「喜久美」さん

—東京理科大学維持会館のこと—

「神楽坂まち飛び実行委員会」
 黒澤優子

せんべいの福屋さんと鳥茶屋さんの
 の路地のつきあたり。現在工事中の
 建物が昔何だうたか覚えてますか？
 いつもどこかが工事中の神楽坂でも、
 取り壊しの時の虚しさは今でも忘
 れることができません。門がしまつて
 いる上に標識もでないの、見過
 ごしていた方も多かったと思います。
 ビンゴ石の路地にふさわしい佇まい。
 たとえ料亭だったとしても、実際お
 客としてそれを確かめられるわけは
 ないので、意識の中で覚えてなかっ
 たのかもしれない。

私とその建物の名前を知り、実際
 に入ったのは二〇〇〇年七月の
 こと。

秋の「まち飛びフェスタ」の企画の
 中で、どこかまちな中心に核となる
 場所を探していた矢先、理科大OB
 のスタッフが交渉して使用許可を頂
 き下見に行った時のことでした。

東京理科大学維持会館「なぜか
 建物の雰囲気そっくりな」維持す

るだけで精一杯

なんていう、名前
 をもつこの建物
 は二軒の料亭の
 内部がつながっ
 いて、入り口から
 ではその全貌を
 知る由もないほ
 ど奥深いもので
 した。所有はし
 ていたけれどあ
 まり使われてい
 なかったらしく、



田中敏雄「Drawing」展

念館」と名前を変えて年末竣工し
 ます。新しい建物はまちとどうつな
 がっていくのでしょうか？ またそこ
 で何かやらせてもらえるのでしょうか？
 披露目できた、なんて
 大層なことをいうつもり
 はありません。今思い出
 しても夢のようです。で
 もこういうことがあまる
 から、「まち飛び」をやるめ
 れないのかもしれない。
 維持会館は「森戸記

の上に無造作に卓やソファが置か
 れていた状態を会期までに掃除して
 ギャラリーとして使えるようにする
 のは、まるで休眠していた建物の眼
 りをさますような作業でした。庭の
 掃除、雑草がけ、床の間に花、掛け
 軸、打ち水に盛塩。その後のことは
 お出でくださった方もたくさんいま
 すので、ここでは省略します。
 今思えばその時すでに建替えが
 決まっていたのかもしれない。すん

その昔料亭だった頃の名前は「梢
 (こずえ)」と「喜久美」といったそ
 うです。最後にお目にかかることが
 きて、本当にありがとうございます。

温故知新

観世静子

神楽坂を文化の発信地に
 したい。それを手伝って頂け
 ませんか——そんなお電話か
 ら、「まち飛び」のお付き合
 いが始まりました。



能楽ワークショップ—観世重正氏

黒川能継承者の方との座談会、能楽ワークショップ、そして
 装束や面の展示という大変内容の濃い企画が決まり、「ここ
 が会場です」と案内されたのが、理科大の維持会館です。

日頃矢来能楽堂を見慣れ、日本建築にもそう驚かない九
 早会の能楽師にも、しつとりした風情を感じさせる素敵な
 建物でした。聞けば我々の能楽堂と同じ昭和27年築で、かつ
 て料亭だったとのこと。神楽坂で青春(?)を謳歌した、先代
 観世喜之も足を運んだに違いないと私達は嬉し、仕事ではな
 く、まるで粋な遊びに出かけるかのように、うきうきとした
 気持ちで毎日維持会館に通ったことを思い出します。

維持会館という名とは裏腹に、昨年こは取り壊されま
 した。新しいものを拒否して文化の発展はありませんが、同
 時に古いものから学ぶことも重要なファクターです。毘沙門
 様前の「石畳の横丁」を通る度、「温故知新」という言葉を囁
 みしめるこの頃です。

参加者を募集します!!

「まち飛び」にはいろんな参加の仕方があります。絵を描いてみ
 るだけでもよし、「どうせなら自分の倒ったものを売る」という
 のもあり。「私のアトを見て」なんて思っている人もチャンスで
 す。さらに「このまちでいろんな人と知りあいたい」「神楽坂がな
 ぜか好き」と思っている人も私達と一緒にまちの文化祭に「ア
 トボランティア」として参加しませんか？

●アートボランティアアスタツプ募集!

イベント当日スタッフ、または事前準備を手伝ってくれる方。「ま
 ち飛び」交流の場を広げてみませんか？

●アートマーケット参加者募集!

作品を売ってみませんか？ 自分の作品をみんなに見てもらい
 たい、そんな希望にお応えします。当日は1スペース(約畳二枚
 分)を500円で使うことができます。詳しくはHPをみてね。

●アートパフォーマンス参加者募集!

アートパフォーマンスって何？ それは歌でも踊りでも何でもO
 K。もちろん白い紙の上でも大丈夫。アトがあふれる坂道で表
 現してみて。

第2回アートボランティア・アスタツプ・ミーティング開催

9月14日(土) 14時/神楽坂3-2-16東進ビル6F

★すべての問い合わせ先/坂本二郎 坂本ガラス店

TEL 0262-02630 http://www.lau.co.jp/mathobi/

発行日 平成14年9月5日 頒価 100円

「かぐらむら」臨時特別号

隔月で偶数月の1日に発行を予定しています。

●発行人/寺田ひろし 編集人/長岡弘志

「かぐらむら」の情報は、下記のホームページで。

●制作/(有)サザンカンパニー内「かぐらむら」編集部

http://www.kaguramura.net

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-66 三上ビル8F

題字/多田文昌 ©サザンカンパニー

TEL 5227-2772 Fax 5227-6750